

株式会社そごう・西武

Webサイト: <http://www.sogo-seibu.co.jp/csr.html>

2014年度末の店舗数: 24店舗

環境関連

2014年度の活動目標・実績と2015年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2014年度の目標・計画	2014年度の実績・成果	評価	2015年度の目標
環境負荷の適切な把握				
	●ISO14001 定期審査にて、 不適合事項:0件 推奨項目拡大	●不適合事項:0件 ●推奨項目:9件(前年▲2件)	△	●ISO14001 2015年版への移行完了
エネルギー効率の向上と再生可能エネルギーの導入				
	●エネルギー原油換算使用量:1%削減 ●LED照明の導入拡大継続	●エネルギー原油換算使用量:1%削減 ●10店舗でLED照明を導入	○	●エネルギー原油換算使用量を1%削減 ●LED照明の導入拡大継続
廃棄物の削減と循環型社会の構築				
	●食品廃棄物リサイクル率:55.0% (前年+0.6%) ●廃棄物リサイクル率:62.5% (前年+0.5%)	●食品廃棄物リサイクル率:54.7% (前年+0.3%) 新規リサイクルルートの適正処理状況精査によるリサイクル委託遅延のため ●廃棄物リサイクル率:62.1% (前年+0.1%) 新規リサイクルルートの適正処理状況精査によるリサイクル委託遅延のため	△	●食品廃棄物リサイクル率:55.0% (前年+0.3%) ●廃棄物リサイクル率:62.5% (前年+0.4%)
生物多様性への対応				
	●グリーンラッピングなどの取り組みによる植樹:1,600本	●植樹:1,750本 植樹先:岩手県宮古市	○	●植樹:1,850本
環境に配慮した商品の提供				
	●環境商品選定基準の見直しによる環境商品拡大、新規選定30品目	●環境商品選定基準に「人体に対する安全性」を追加 ●新規選定:33品目	○	●新規選定:30品目
従業員への意識啓発				
	●環境e-ラーニング:全従業員受講 ●全従業員を対象とした「節電応援キャンペーン」達成報告:60名	●環境e-ラーニング:全従業員受講 ●節電応援キャンペーン達成報告:36名	△	●環境e-ラーニング:全従業員受講 ●節電応援キャンペーン達成報告:60名

環境関連データ ※詳細データは、「環境関連データ(詳細)」ページをご参照下さい。

課題	単位	2012年度	2013年度	2014年度
店舗数	店舗	24	24	24
CO ₂ 排出量 ^{*1 *2 *3}	t-CO ₂	188,486	197,747	194,315
店舗運営にともなうCO ₂ 排出量 ^{*2 *3}	t-CO ₂	187,831	196,992	193,578
店舗運営にともなう電気使用量 ^{*2}	GWh	357	346	341
店舗運営にともなう水使用量 ^{*2}	千m ³	2,438	2,354	2,265
容器包装使用量	t	1,623	1,493	1,465
廃棄物量(リサイクル率)	t(%)	32,020(60.6)	30,981(62.0)	30,880(62.1)
食品廃棄物のリサイクル率 ^{*2}	%	50.3	54.4	54.7

※1 店舗運営・法人外資部・本部・物流センターの運営に伴うエネルギー使用に由来するCO₂排出量。

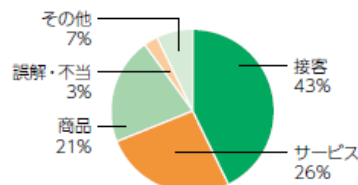
※2 集計期間は4月~3月。

※3 CO₂排出量は「セブン&アイHLDGS. グループ共通CO₂排出量算定マニュアル」に沿って算出しています。

お客様相談受付関連データ

2014年度も引き続き「お客様の声」から、各売場の接客サービス・オペレーションの課題を抽出・分析し、お客様の不満の解消と、顧客ニーズを営業施策に反映するための活動を推進してきました。また、従業員のサービスマインド向上の啓発活動として、お客様に喜んでいただいた事例は継続して社内報に掲載。
2015年度は、さらに店舗の改善活動を推進し、「お客様に喜んでいただく組織風土の醸成」に向けて、サービス改善を重ねてまいります。

2014年度相談内容の内訳
受付件数10,654件(前年度比90%)



2014年度の活動目標・実績と2015年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2014年度の目標・計画	2014年度の実績・成果	評価	2015年度の目標
商品とサービスの品質・安全性の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●法令を遵守した適切な食品表示の実施 ●衣料・雑貨領域のPB商品を対象に検品体制を強化 ●品質管理e-ラーニング他、教育カリキュラムのレベルアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ●アレルギー、産地などの表示点検を全店で実施 ●納品前点検を263回実施(前年+170回) ●階層別カリキュラムを構築し、実行 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●異物混入防止活動の強化 ●衣料・雑貨領域のPB商品を対象に検品体制の継続 ●教育体制のレベルアップと資格取得の推奨
安心して利用できる店舗・設備の整備				
	<ul style="list-style-type: none"> ●車椅子利用者用の段差解消エレベーター設置 ●出入口へ自動扉設置 	<ul style="list-style-type: none"> ●そごう広島店本館と新館の連絡階段に車椅子用リフターを設置 ●出入口に自動扉設置(そごう広島店、そごう柏店) 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●多目的トイレの扉を開閉しやすく改修
適切な情報提供				
	<ul style="list-style-type: none"> ●専門機関と提携した「食品表示」および「衣料・雑貨領域のPB商品表示」点検の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●全拠点を対象に専門機関点検を3回実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●専門機関と提携した「食品表示」および「衣料・雑貨領域のPB商品表示」点検の継続
お客様の声への誠実な対応(体制)				
	<ul style="list-style-type: none"> ●お客様のご要望分析を活用し、従業員のさらなる「お客様意識」向上を推進 ●お客様からのご不満の声削減:6,488件以下 	<ul style="list-style-type: none"> ●「お客様の声」を活かした活動を継続的に実施し、お客様からのご不満の声を改善 ●お客様からのご不満の声:5,384件(前年差▲1,104件) 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●お客様の百貨店サービスに対する期待は大きいため、「お客様の声」からご要望を分析し、店舗と本部が連携して、さらなる従業員のサービスマインドの向上を推進 ●お客様からのご不満の声削減:5,384件以下

課題	2014年度の目標・計画	2014年度の実績・成果	評価	2015年度の目標
育児・高齢者支援など	<ul style="list-style-type: none"> ●プレママステーション、カウンターの継続と親子で楽しめる講座、イベントの開催継続 ●助産師に寄せられた声をもとにした商品開発の継続 ●専門販売員のさらなる新規育成 シューフィッター:18人 シューアドバイザー:17人 他 ●こども靴下取り足数:90,000足 	<ul style="list-style-type: none"> ●プレママステーション、カウンターにて、ベビーサイン講座、ベビーマッサージ、孫育て講座など、30回以上実施 ●助産師に寄せられた声をもとにマルチケープ、ニットケットなど、8商品を開発 ●専門販売員を新規養成 シューフィッター:17名 スポーツシューフィッター:28名 シューアドバイザー:32名 きき酒師:6名 他 ●こども靴下取り足数:85,709足 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●プレママステーション、カウンターの継続と親子(母子、父子)で参加できるイベントの開催 ●助産師に寄せられた声をもとにした商品開発の継続 ●専門販売員の新規育成継続 シューフィッター:15名 フォーマルスペシャリスト:10名 ハートフルアドバイザー:15名 認知症サポーター:1,650名 他 ●こども靴下取り足数:90,000足
地域活性化への協力	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と密着したイベントを継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●「グリーンカーテンプロジェクト」[打ち水大作戦]などの地域連動イベント(各店) ●地元神奈川を見直すイベント[神奈川ディスカバーウィークス](そごう横浜店) ●地元食材を使った「ふるまい鍋」ウォームシェアイベント(旭川店、福井店) ●地元「狭山茶」の茶摘み・工場見学ツアー、狭山茶を使った衣料品や雑貨を自主開発、期間限定販売(西武所沢店) ●地元食材を使った「福井のスイーツ大博覧会」(西武福井店) ●地元産野菜の朝市(西武大津店) 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と密着したイベントを継続実施 ●地場企業との協業で地域の伝統技術や製品を取り入れ、店ごとに違った開発商品を加えた「リミテッド エディション エリアモード」を展開
災害時の支援	<ul style="list-style-type: none"> ●地震災害時「帰宅困難者対策」を含めた、自治体や地元企業との連携・協力体制の継続 ●「防災フェア」などの開催を通じた、防災への意識啓発活動推進 ●神戸市と「災害時の物資提供協定」締結 	<ul style="list-style-type: none"> ●首都圏店舗を中心に各地域連携での訓練実施や「帰宅困難者対策協議会」への参画推進 ●地域住民などへの意識啓発活動の一環として、地域自治体などとも連携した「防災フェア」を開催 ●協定は、1998年9月1日締結済、協定に伴う調査表提出 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●地震災害時「帰宅困難者対策」を含めた、自治体や地元企業との連携・協力体制の継続 ●「防災フェア」などの開催を通じた、防災への意識啓発活動推進 ●千葉県との「地域包括協定」締結による地域活動の推進
地域防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と連携した防犯・防災体制へ継続的に協力 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で開催された「防災訓練」や「防犯パトロール」へ参加 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と連携した防犯・防災体制へ継続的に協力

従業員関連

2014年度の活動目標・実績と2015年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2014年度の目標・計画	2014年度の実績・成果	評価	2015年度の目標
能力向上支援	●個々人の基礎能力向上および専門資格取得拡大に向けた施策の構築・実施により、キャリアアップ講座に3,000名新規受講	●新規受講者:3,533名	○	●個々の基礎能力向上および専門資格取得拡大に向けた「自主売場研修の受講促進」と「キャリアアップ講座受講促進」により、延べ3,000名新規受講
ワークライフバランスの実現	●くるみんマークの取得 ●雇用区分に関わらない育児支援制度の充実・拡大 ●育児休職者への情報共有によるサポート強化	●2014年7月くるみんマーク取得 ●有給での育児休暇制度を新たに導入、看護休暇を有給化 ●労使連携した育児休職者座談会を実施	○	●育児支援とマネジメントの理解浸透に向けた出産・育児ハンドブックの発行
多様な人材の活躍	●契約社員からの正社員登用数:17名 ●専門人材の中途採用数:5名 ●女性管理職比率(課長級以上):20%	●契約社員からの正社員登用数:17名 ●専門人材の中途採用数:4名 ●女性管理職比率(課長級以上):13%	△	●契約社員からの正社員登用数:30人 ●専門人材の中途採用数:5名 ●女性管理職比率(課長級以上):20%
労働安全衛生への配慮	●本部を含めた健康管理体制の充実 ●メンタルヘルスマネジメント教育によるメンタル休職者発生率の減少	●全事業所をサポートする本部保健師の常駐体制を整備 ●メンタル疾患休職者:前年度比約8割に減少(改善)	○	●健康診断後フォローアップの全店統一化(メタボ、受診勧奨などに関する数値の統一を含める) ●メンタル疾患社員に対する職場復帰支援プログラムの確立

人事関連データ

従業員の内訳(2015年2月末)		(人)
正社員 ^{*1}		4,281
	男性	2,982
	女性	1,299
パートタイマー ^{*2}		4,227
従業員数(正社員数+パートタイマー数)		8,508
新卒採用者数		40
中途採用者数		1
再雇用者数 ^{*3}		67

*1 定年再雇用者を含みます。

*2 1日8時間換算による月平均人員。契約社員を含みます。

*3 定年再雇用者数。

*4 2013年度中に取得した人数。(前年からの継続+新規取得)

*5 役員を除いた係長級以上の比率。

*6 年度の数値は翌年度の6月1日現在の数値。

	2012年度	2013年度	2014年度
正社員平均勤続年数	21年0カ月	22年0カ月	22年0カ月
育児休職取得者数 ^{*4} (うち男性、パートタイマー)	148人(2, 54)	213人(1, 92)	193人(7, 85)
介護休職取得者数 ^{*4} (うち男性、パートタイマー)	13人(5, 3)	9人(0, 5)	6人(0, 5)
ボランティア休職取得者数	制度なし	制度なし	制度なし
女性管理職比率 ^{*5}	19.8%	20.7%	23.1%
障がい者雇用率 ^{*6}	2.00%	2.04%	2.04%
正社員有給休暇取得率	6.6%	14.0%	6.6%
労働災害度数率	0.30	0.29	1.04
労働災害強度率	0.00	0.003	0.02

従業員相談受付関連データ

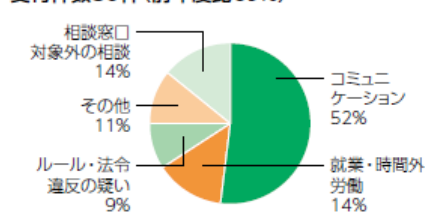
時間管理の問題については、昨年来重点的に取り組んできましたが、本年も引き続き全社レベルで対応すべき課題と位置付けて対応しました。社員の時間管理意識の改革を目的とした研修も講師を弁護士に依頼するなど、外部専門家の視点から時間管理およびその他労働問題におけるコンプライアンスの徹底に注力しました結果、相談件数は減少しました。

職場環境・人間関係などに関する相談件数は増加しましたが、その大きな発生要因として職場内のコミュニケーション不足があると考えられましたので、発生現場となったマネージャーに対しては、具体的に上下関係の充実のほかメンバー間の意思疎通の重要性の再認識と、十分に目配りした指導の必要性の再確認により、マネジメントスタイルの改革を要請しました。また、ほかのマネージャーに対してはコミュニケーションの充実がハラスメントなどリスクの発生を防ぎ、職場環境の改善につながるという啓発活動も実施しました。

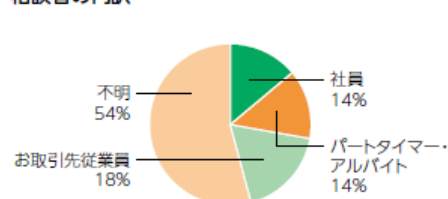
なお、以上の趣旨に基づき実施しました研修については、コンプライアンスの徹底がリスクマネジメントに直結することを、日常の業務活動に即した事例などをあげて実施しており、これにより事故事件の発生防止、拡大防止につなげております。

2014年度相談内容の内訳

受付件数56件(前年度比89%)



相談者の内訳



2014年度 環境関連データ(詳細)

■データ推移(2010年度～2014年度)

項目		2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
全社CO2排出量 ※2	t-CO2	206,473	173,868	188,486 ※1	197,747 ※1	194,315 ※1
店舗運営に伴うCO2排出量 ※2	t-CO2	205,937	173,365	187,831 ※1	196,992 ※1	193,578 ※1
店舗運営に伴う電気使用量 ※2	GWh	444	376	357 ※1	346 ※1	341 ※1
店舗運営に伴う水使用量	千m3	2,892 ※1	2,704 ※1	2,438 ※1	2,354 ※1	2,265 ※1
店舗運営に伴う廃棄物排出量	t	31,687 ※3	32,749	32,020	30,981	30,880

※1 2013年3月改定の「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

※2 2011年度以前のデータは、改定前マニュアルによる算定(集計期間:3月～2月、電気使用に伴うCO2排出係数:0.391 [t-CO2/千kWh])

※3 西武春日部店(旧ロビンソン春日部店)及び西武小田原店(旧ロビンソン小田原店)を含まない。

■2014年度実績及び中長期目標

項目	2014年度実績	原単位 ※2	2014年度目標		2015年度目標	2020年度目標	2030年度目標
			目標	評価 ※3			
全社CO2排出量 ※1	t-CO2	115	195,770	○	192,372	176,896	146,333
店舗運営に伴うCO2排出量 ※1	t-CO2	115	195,022	○	191,642	176,202	145,774
店舗運営に伴う電気使用量 ※1	GWh	0.203	343	○	338	-	-
店舗運営に伴う水使用量 ※1	千m3	1.351	2,330	○	2,242	-	-
店舗運営に伴う廃棄物排出量	t	18	30,671	△	30,571	-	-
再生可能エネルギー利用量 (太陽光パネル設置による拡大)	MWh	0.016	27	○	27	31	35

※1 「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

※2 延床面積[千m2]当たり原単位

※3 ○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

■2014年度店舗データ

店舗	CO2排出量 [t-CO2] ※	電気使用量 [GWh] ※	水使用量 [千m3] ※	廃棄物排出量 [t]
池袋本店	29,121	52	438	4,352
渋谷店	7,943	17	95	1,005
船橋店	7,372	17	74	633
所沢店	4,899	11	75	794
筑波店	4,322	7	37	428
東戸塚店	4,912	8	75	1,317
高槻店	5,317	12	94	1,382
八尾店	6,633	11	87	1,814
大津店	4,207	9	55	1,122
福井店	5,474	8	44	431
岡崎店	2,816	5	32	275
旭川店	6,255	8	45	475
秋田店	3,510	6	29	426
春日部店	6,048	10	54	516
小田原店	6,073	10	27	845
横浜店	18,363	32	238	4,062
千葉店	18,951	25	157	2,788
神戸店	7,729	16	117	1,670
広島店	13,827	19	125	1,595
大宮店	7,131	15	80	1,332
川口店	5,898	13	73	941
柏店	6,449	14	114	587
西神店	2,756	6	43	1,076
徳島店	7,572	8	57	1,016
店舗合計	193,578	341	2,265	30,880

※ 「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

■2014年度環境会計

環境保全コスト (百万円)		主な内容
投資額	経費額	
786 (745)	1,383 (1,365)	LED照明導入・空調機器更新 ビルコン更新・BEMS導入 他
経済効果 (百万円)		主な内容
効果額		
479 (445)		環境商材売上利益 LED照明導入による省エネ効果 他
環境保全効果		主な内容
効果		
電力 1,897 (1,353) [千kWh] 削減		LED照明導入・空調機器更新による 省エネ効果 他

※ () 内は前年

■2014年度サプライチェーンを通じたCO2排出量

区分	カテゴリ	CO2排出量 [t-CO2]	
		排出量	構成比
スコープ1	直接排出	10,945	0.5%
		(11,485)	(0.5%)
スコープ2	エネルギー起源の間接排出	183,620	8.3%
		(185,003)	(8.2%)
カテゴリ1	購入した製品・サービス	1,708,546	77.2%
		(1,713,856)	(76.4%)
カテゴリ2	資本財	30,168	1.4%
		(32,619)	(1.5%)
カテゴリ3	Scope 1,2に含まれない燃料 及びエネルギー活動	16,844	0.8%
		(17,187)	(0.8%)
カテゴリ4	輸送、配送(上流)	24,410	1.1%
		(25,989)	(1.2%)
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	3,188	0.1%
		(3,276)	(0.1%)
カテゴリ6	出張	689	0.03%
		(679)	(0.03%)
カテゴリ7	雇用者の通勤	2,051	0.1%
		(2,134)	(0.1%)
カテゴリ8	リース資産(上流)	算定対象外	
カテゴリ9	輸送、配送(下流)	2,010	0.1%
		(2,046)	(0.1%)
カテゴリ10	販売した製品の加工	算定対象外	
カテゴリ11	販売した製品の使用	27,798	1.3%
		(28,408)	(1.3%)
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	147,679	6.7%
		(148,960)	(6.6%)
カテゴリ13	リース資産(下流)	38,924	1.8%
		(39,055)	(1.7%)
カテゴリ14	フランチャイズ	算定対象外	
カテゴリ15	投資	算定対象外	
その他	従業員の家庭での電力使用 による排出	17,561	0.8%
		(32,061)	(1.4%)
スコープ3	その他の間接排出	2,019,868	91.2%
		(2,046,270)	(91.2%)
合計		2,214,433	100.0%
		(2,242,758)	(100.0%)

※ () 内は前年

2015年度 環境関連データ(詳細)

■データ推移(2011年度～2015年度)

項目		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
全社CO2排出量	t-CO2	173,868 ※2	188,486 ※1	197,747 ※1	194,315 ※1	193,101 ※1
店舗運営に伴うCO2排出量	t-CO2	173,365 ※2	187,831 ※1	196,992 ※1	193,578 ※1	192,417 ※1
店舗運営に伴う電気使用量	GWh	376 ※2	357 ※1	346 ※1	341 ※1	339 ※1
店舗運営に伴う水使用量	千m3	2,704 ※1	2,438 ※1	2,354 ※1	2,265 ※1	2,262 ※1
店舗運営に伴う廃棄物排出量	t	32,749	32,020	30,981	30,880	31,334

※1 2013年3月改定の「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

※2 改定前マニュアルによる算定(集計期間:3月～2月、電気使用に伴うCO2排出係数:0.391 [t-CO2/千kWh])

■2015年度実績及び中長期目標

項目	2015年度 実績	原単位 ※2	2015年度 目標	評価 ※3	2016年度 目標	2020年度 目標	2030年度 目標	
全社CO2排出量 ※1	t-CO2	193,101	114	193,343	○	179,506	166,615	146,333
店舗運営に伴うCO2排出量 ※1	t-CO2	192,417	115	192,610	○	178,829	165,965	145,774
店舗運営に伴う電気使用量 ※1	GWh	339	0.202	340	○	315	-	-
店舗運営に伴う水使用量 ※1	千m3	2,262	1.349	2,254	△	2,121	-	-
店舗運営に伴う廃棄物排出量	t	31,334	19	30,726	△	30,011	-	-
再生可能エネルギー利用量 (太陽光パネル設置による拡大)	MWh	27	0.016	27	○	27	31	35

※1 「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

※2 延床面積[千m2]当たり原単位

※3 ○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

■2015年度店舗データ

店舗	CO2排出量 [t-CO2] ※	電気使用量 [GWh] ※	水使用量 [千m3] ※	廃棄物排出量 [t]
池袋本店	28,334	53	462	4,408
渋谷店	8,300	17	99	996
船橋店	7,784	17	85	637
所沢店	4,990	11	72	773
筑波店	4,125	7	36	400
東戸塚店	4,739	9	73	1,294
高槻店	5,680	12	86	1,311
八尾店	6,758	11	79	2,701
大津店	4,437	9	51	1,132
福井店	5,549	8	43	402
岡崎店	2,782	5	33	246
旭川店	5,620	8	41	438
秋田店	3,314	5	28	494
春日部店	5,412	9	50	517
小田原店	5,728	10	27	787
横浜店	17,398	32	241	4,122
千葉店	18,654	25	161	2,684
神戸店	8,231	16	116	1,643
広島店	13,577	18	124	1,509
大宮店	7,611	15	83	1,267
川口店	6,352	13	70	899
柏店	6,867	14	102	568
西神店	2,954	6	40	1,076
徳島店	7,218	8	58	1,032
店舗合計	192,417	339	2,262	31,334

※ 「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定
(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

■2015年度環境会計

環境保全コスト (百万円)

投資額	経費額	主な内容
118 (786)	1,417 (1,383)	インバーター導入、空調機器更新 他

経済効果 (百万円)

効果額	主な内容
439 (479)	環境商材売上利益、インバーター導入による省エネ効果 他

環境保全効果

効果	主な内容
電力 1,413 (1,897) [千kWh] 削減	インバーター導入・空調機器更新による省エネ効果 他

※ () 内は前年

■2015年度サプライチェーンを通じたCO2排出量

区分	カテゴリ	CO2排出量 [t-CO2]	
		排出量	構成比
スコープ1	直接排出	10,812	0.5%
		(10,945)	(0.5%)
スコープ2	エネルギー起源の間接排出	182,781	8.3%
		(183,620)	(8.3%)
カテゴリ1	購入した製品・サービス	1,696,683	76.7%
		(1,708,546)	(77.2%)
カテゴリ2	資本財	37,317	1.7%
		(30,168)	(1.4%)
カテゴリ3	Scope 1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	16,803	0.8%
		(16,844)	(0.8%)
カテゴリ4	輸送、配送(上流)	24,389	1.1%
		(24,410)	(1.1%)
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	3,116	0.1%
		(3,188)	(0.1%)
カテゴリ6	出張	659	0.03%
		(689)	(0.03%)
カテゴリ7	雇用者の通勤	2,030	0.1%
		(2,051)	(0.1%)
カテゴリ8	リース資産(上流)	算定対象外	
カテゴリ9	輸送、配送(下流)	2,004	0.1%
		(2,010)	(0.1%)
カテゴリ10	販売した製品の加工	算定対象外	
カテゴリ11	販売した製品の使用	26,883	1.2%
		(27,798)	(1.3%)
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	149,665	6.8%
		(147,679)	(6.7%)
カテゴリ13	リース資産(下流)	38,682	1.7%
		(38,924)	(1.8%)
カテゴリ14	フランチャイズ	算定対象外	
カテゴリ15	投資	算定対象外	
その他	従業員の家庭での電力使用による排出	19,370	0.9%
		(17,561)	(0.8%)
スコープ3	その他の間接排出	2,017,601	91.2%
		(2,019,868)	(91.2%)
合計		2,211,195	100.0%
		(2,214,433)	(100.0%)

※ () 内は前年